

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2770106298		
法人名	社会福祉法人 おおとり福祉会		
事業所名	ほがら草部グループホーム		
所在地	大阪府堺市西区草部933番地 (電話)072-271-0077		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪府大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル カロア事務局		
訪問調査日	2009/12/11	評価確定日	

【情報提供票より】(21年11月29日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤 4人, 非常勤11人, 常勤換算4.7人	

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	~ 1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有( 円)	無	○	
保証金の有無 (入居一時金含む)	◎(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	16,000 円		

## (4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	2	要介護2		2	
要介護3	7	要介護4		6	
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 86.5歳	最低	74歳	最高	95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	喜多ククリニック 石橋歯科
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

・静かな住宅街にあります。小学校が近くにあり、朝・夕には子供たちの声が聞こえてきます。  
 ・利用者は、居室内の家具や、食事の食器を持ち込むことが出来、その人らしい暮らしを出来る様に支援しています。  
 ・自治会長を始めとする、地域住民の理解や協力があり、近隣の行事に参加する事も多く、とてもよい関係を築かれている様子が伺えます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 災害対策のマニュアルの作成と自動扉の改善は、引き続き今後の課題とされています。その他課題であったホームが立地している校区と交流の多い校区が分かれていましたが、ホームが立地している校区とも交流を始められ、改善に向けて取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  災害対策の対応等は、常に職員間や運営推進会議で話し合われています。具体的なマニュアルに関しても今後作成を予定しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)  2ヶ月に1回開催しています。家族や地域住民・包括支援センターや他の施設もメンバーになり、活発な意見交換をしています。第三者評価の結果も報告しています。西区のグループホームの連絡会にも、今後は市の担当者の参加予定があり、今後のサービス向上に活かされるように取り組まれています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 各ユニットに意見箱を設置されていますが、家族の面会時に利用者の日々の生活等を伝え、家族からの意見や要望を直接言って頂けるような声掛けをされています。面会が少ない家族もおられる為、施設の行事に家族が参加出来る様に案内を出したり、請求書に日々の暮らしが分かるような手紙を同封される等、工夫されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  ホーム近くの団地には高齢者が多く、自治会長の協力もあり、夏祭り等互いに誘い合い、地域の行事にも多く参加しています。朝には、近くにある小学校の子供たちを見守るあいさつ運動に参加をして地域に密着した施設作りをしています。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<運営方針> 利用者の人権を尊重し、家庭的で笑顔のある、きめの細かいケアサービスにより支援することを基本方針とします。<運営理念> ・安らぎと自信をもつことが出来、自ら決定できるように支援します。・地域社会の一員として、この地域で生活していくことを支援します。・職員は利用者と共に、生活を楽しみ、自己研鑽に努めます。 以上の内容をホーム内に掲示しています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットごとに掲示していました。各職員へも周知徹底の為、理念のカードを携帯をしています。職員の会議の場でも話し合いがされています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム近くの団地の夏祭りや、敬老会を通して交流があります。毎朝、ホーム前の道路で、利用者と一緒に登校する学生等を見守り、挨拶運動をされる等、とても地域に密着した活動をされています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を各職員と話し合い前向きに取り組んでいます。前回課題だった、ホームが立地している校区と、交流の多い校区が分かれている事については、最近ホームが立地している校区と交流が持てるようになり、改善に向けて努力されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催され、2つの校区の地域住民・行政・包括支援センター・他のグループホーム等が参加し、活発な意見交換がされています。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>入所相談等で、包括支援センターと関わりがあり、相談する事もある。また、今後は西区のグループホーム連絡会にも市の認知症連携担当者に参加していただく予定をしている等、少しずつ関係を築いています。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に行事や日々の事を伝えるようにしています。面会に来られない時には、請求書を毎月送付されている中に、日々の生活やお知らせを書いた手紙を同封する等、利用者の事が家族に伝わりやすいように、取り組んでいます。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各ユニットに苦情相談箱が設置されていましたが、家族が面会時に意見や要望がしやすい様な声かけをする等、普段から直接意見を言ってもらえる様な関係が築いています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職を最小限に抑える為、勤務時間の希望等を配慮していました。また、2ユニットの利用者の事を全職員が把握されていて、移動等で職員が変わっても、他の職員でフォロー出来る様になっていました。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内では感染症や認知症ケア、法人内では介護技術や生活勉強会等、また外部研修にも多数参加されていて、職員が自発的に参加出来る様に、研修スタンプカードを設けて、評価する取り組みをしています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西区のグループホーム連絡会が毎月あり参加されています。連絡会では、利用者の待機数の情報共有や、施設見学・相談等する事が出来、積極的に相互交流しています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に家族から、利用者の故郷や生活歴、女性の利用者の時には旧姓を伺い、利用者が安心してサービスを受けられるように配慮しています。入所後も、利用者との会話で分からない事がある時は、家族に伺ってから対応する事で、少しでも不安を軽減出来る様にしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者は、家族の一員として共に生活を楽しめるよう努めています。職員がさりげなく声かけを行ない、家事などの作業を一緒にしながら、今までの経験を活かしたアドバイスを頂いて生活を築いています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご希望や要望は直接利用者に伺いますが、訴える事の難しい利用者へは、家族に相談されたり、24時間形式で記入している、個々のケースを参考にして、利用者の思いや意向を組み入れたケアを検討しています。また、毎朝のミーティングでも話し合い、皆で考えています。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者・家族・医師・スタッフにより、内容を検討しています。面会が難しい家族には、事前に要望等を電話で聞くようにされ、意見や要望を計画に反映しています。また、利用者の日々の変化に対応できる様な介護計画の作成をしています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>体調の変化や対応方法の変化等がある時は、見直し期間以前でも必要な時に、見直しをしています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応しています。又、外泊したい利用者には家族と連絡を取り、本人の希望に副えるように努めています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>施設の協力病院のドクターによる往診や、同法人の看護師による訪問があります。ドクターとは、24時間いつでも連絡が取れる体制を築いています。また、家族や本人による希望があれば、入所前のかかりつけ医に通院する事もできます。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期に関する話し合いは職員間でつねに話し合われていますが、具体的な方針や支援方法のマニュアルが作成されていません。施設の入浴が一般浴室の為、入浴がクリアで出来るかを一つの視点にしています。</p>		<p>今後の重度化や終末期を迎える利用者に対して、統一した対応が出来る様に、スタッフや協力病院等と話し合い、マニュアルの作成をされてみてはいかがでしょうか。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>年に2度、施設独自で「気になる言葉チェック」をしています。また、日頃から気になる言葉はチェックされ、改善が出来る様にされ、利用者のプライバシーを損ねないように配慮しています。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>買い物や、散歩等外出の機会を設けられるように支援しています。ユニット毎も自由に行き来でき、利用者がその日、好きな場所でゆっくりと過ごすことができるようになっています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けは、利用者の現在の能力を維持できるように支援しています。メニューは同法人の栄養士が作成していますが、ホームの利用者と一緒に作った畑の野菜を収穫した時には、メニューの変更をし、季節の食材を味わって頂いています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決まっています。その中で、利用者の体調や、希望を伺い、対応しています。		入浴時間等、個々の希望はスタッフの配置状況で左右されることが多い様です。スタッフと話し合われて、利用者が希望する時に入浴が出来るようなローテーションを考えてみてはいかがでしょうか。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や掃除等利用者一人一人に合った支援を出来る様に、職員間で話し合わせ、利用者に働きかけしています。施設内には、利用者が撮影された写真を飾る等、利用者が継続して楽しみを持てるようにしています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食事で使用する調味料や利用者が希望される嗜好品を買いに一緒に外出されています。利用者の散髪も、訪問サービスを利用せずに、車椅子で理髪店へ外出する等、出来る限り多くの外出機会を作っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットを利用者が自由に行き来する事ができますが、玄関の自動扉のスイッチが切られ、手動式になっていました。職員は個々の習慣や、意向を察知し、外出される利用者には、職員もさりげなく付き添う様にしています。		自動扉を開けるには力がある手動式では、利用者が閉塞感を感じられると思います。まずは、利用者や訪問者が分かりやすいように手動式である事を、掲示されることから始めて見てはいかがでしょうか。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会いの避難訓練をされています。地域住民には、緊急通報装置の協力者になって頂いています。職員間では、常に夜間の災害時等、施設が直面する課題に対して話し合っています。</p>		<p>災害時のマニュアルは、法人全体のマニュアルの為、グループホームに適したマニュアル作りを検討されてみてはいかがでしょうか。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人の管理栄養士が献立や、栄養バランスを考えて作成しています。個々の摂取量や水分量は必要に応じてケースに記載しています。利用者がいつでも水分を摂れるように、お茶等を手近かなキッチンカウンターに用意しています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下には季節の飾りつけや、利用者の撮った写真の作品等が、飾られていて、季節感を感じることができます。また、テレビの音量も適度に調整されていて、テレビを見ていなくても気にならずに、ゆっくりと過ごすことができる様に配慮されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>お茶碗・コップ・お箸は今までに使用されていた物を持ち込んで頂いています。居室内も同様に、馴染みのある家具や、使い慣れた日用品を持ち込んで頂けるよう、家族と話し合われて工夫されています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。